

特発性間質性肺炎急性増悪に関する多施設共同研究について

この度海老名総合病院呼吸器内科では入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施させていただきます。

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。またプライバシー保護について法令等を遵守し研究を行わせて頂きます。

試料・情報について、本研究への利用をのぞまれない場合は以下担当医師にご連絡ください。

1. 研究目的

下記の試料・診療情報等を利用し、特発性間質性肺炎急性増悪の予後について解明することを目的とした研究を実施するため、当院において特発性間質性肺炎急性増悪の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに特発性間質性肺炎急性増悪のデータを選び、特発性間質性肺炎急性増悪に関する分析を行い、予後、予後に影響する因子について調べます。

2. 研究方法

- 1) 研究対象：東海大学医学部附属病院呼吸器内科、東海大学医学部附属八王子病院呼吸器内科、海老名総合病院、平塚市民病院に2006年4月1日から2025年5月31日までに入院歴のある18歳以上の症例
- 2) 実施期間： 実施許可日から2030年3月31日
- 3) 研究方法： 後ろ向き研究
- 4) 研究成果の公表： 学会発表

3. 試料・情報

1. 間質性肺炎診断時年齢
2. 経気管支鏡肺生検の有無および病理学的所見
3. 外科的肺生検の有無および病理学的所見
4. 性別
5. 喫煙歴
6. 併存疾患（肺気腫、肺高血圧、肺癌、逆流性食道炎、心血管疾患、糖尿病、睡眠時無呼吸症候群）
7. 既往歴（過去の間質性肺炎急性増悪の既往も含む）
8. 間質性肺炎の家族歴
9. 生活歴（粉塵暴露歴、鳥との接触、職業歴など）
10. 在宅酸素療法の有無
11. 入院時バイタルサイン
12. 入院時治療内容（抗線維化薬、NAC吸入、ステロイド、免疫抑制剤、ST合剤、抗生剤）
13. 社会的要因（身体機能障害、社会資源利用、家族構成（独居、配偶者や子供の同居率））
14. 入院前、あるいは入院中、退院後の検査所見（血液検査、画像検査、生理機能検査）
15. 転帰（死亡、入院、自宅退院、転院）

4. 外部への試料・情報の提供

個人が特定できる情報(氏名、住所、生年月日など)は除外した形でデータ集積を行います。

データの紛失・改ざん・漏洩などを防ぐためデータベースへのアクセスはID・パスワード等、適切に管理しています。

収集した匿名化データは海外含む学術研究施設に提供されますが、診療の質評価および研究目的以外には使用致しません。研究成果は個人が特定できないような形で発表を行います。

5. 本研究責任者およびお問合せ先

本研究にご質問がありましたら下記の連絡先までお問合せください。お申し出によりそれ以降の分析から個人データを除外することは可能ですが、お申し出時点より前の分析および発表済の研究結果からの削除は出来ない場合がありますのでご承知くださいますようお願い致します。

施設名 : 海老名総合病院

住所 : 神奈川県海老名市中央4丁目16-1

電話 : 046-233-1311

研究責任者 : 診療部 榎田啓十